

私が心に残っている種目は、三つあります。一つ目は、応援です。なぜかというと、私達白組は、毎日、昼休みに練習したり、自主的に練習をしたからです。当日、応援合戦は、午前と午後に行われました。午前の応援では、皆、声がせんせん出ていませんでした。まだ、本番の気持ちになれず、練習の気持ちの人がいるんだとふとと思いました。団長と副団長が、「皆、声が小さいよ!」と、声をかけました。私は、皆が大きい声を出すように、まず、自分がもっと大きい声を出そうと思いました。

そして、いよいよ午後の応援になりました。私は、午前までは、負けてしまうと思い、大きな声を出しました。すると、

(評) 元気いっぱいに玉入れをしている様子が上手に描けました。



皆野小1年
南 綾乃さん



〈本人のコメント〉
ここは、家の近くを
流れる荒川の景色で
す。子どもの頃から
遊んだ場所なので描
いてみました。



「最高の運動会」

三沢小6年

返町 郁さん

ジュニアミュージアム



アム

皆も午前の時より大きな声を出していました。特に、応援歌は声が出ていました。私はこれなら勝てるぞと思いました。私のよいよ結果発表の時がきました。私は、不安と緊張で胸がドキドキしました。結果は、五対四で白が負けてしまいました。私は、とても悔しかったけど、失敗せずに堂々とできたので良かったです。二つ目は組み体操です。なぜかというと、赤白関係なく協力して取り組んだからです。三人技では、志穂ちゃんと彩ちゃんと一緒にペアで私は支えました。飛行機では、練習の時、志穂ちゃんが彩ちゃんの足を持ち上げるのに何度も失敗していました。でも、だんだんコツがつかめできました。本番では、きれいな飛行機ができました。私は、練習から気を抜かずにつれてきて正解だったと思いました。

三つ目は、全校リレーです。私は走るの

がおそいからリレーが苦手です。でも、私のせいでチームが負けるのは、いやでした。私は、早く走れるように、家や学校で練習をしました。予行練習で他のチームの人には抜かされてしまい、

「もう少し早く走ろう!」

と言われたので、すごく不安でした。

本番は、私の前まで1位で来ました。私は、抜かされるんじゃないかと、気弱になってしましましたが、その気持ちにつぶされないように夢中で走りました。そうしたら、誰にも抜かされずに、次の人にバトンを渡すことができました。チームは1位でゴールできました。皆でハイタッチをして喜びました。私は、チームの皆さんと喜びあえた、本当にホッとしたしました。

実は、朝練すると決めたけれど、つかれてと中で切りあげたいと思う日もありました。でも、負けずにやりとげる事ができたので、満足感が生まれた運動会となりました。そして、私にとってこの運動会は、弱い心に負けない努力の大切さを学べた最高の運動会となりました。

(評) めあてをもって全力で取り組めた運動

会の様子がよく伝わってくる文章です。運動

会を通じて、勝ち負け以上に大切な生物を得ることができた様子ですね。

皆野小3年

荒井 暢さん



国神小6年

林 莉槐くん



「荒川の風景」

皆野中3年

下山祥太郎くん

